かめのり

未来をつくる リーダーシップ プロジェクト 2025

Kamenori Academy for Future Leaders 2025

実施レポート

『全員発揮型のリーダーシップ』について理解を深め 必要な『スキルを身につける』ことを目指す

全員発揮型のリーダーシップは
権限や立場に関係なく個々の強みを活かして発揮できるものであり、学習可能です
一人ではなく、全員が発揮することで結果につながります
また、研修を通して、集団や社会で活動するために必要な生きる力（＝ライフスキル）を身につけます

主な実施内容

◎3種類の研修で、全国各地から集まった高校生と大学生が学び合う

テーマ	学習スタイル	目　標
オリエンテーション （プロジェクトの進め方）	オンライン研修 ① 11月12日（水）20：30～22：00	▶知り合う活動を通して、活動の土台を作る。
自分を知ることから始める リーダーシップ	オンデマンド学習 ① （各自）	▶全員発揮型のリーダーシップと自己認識。
なぜ今“全員発揮型の リーダーシップ”なのか	オンライン研修 ② 11月19日（水）20：30～22：00	▶自己認識（マインドフルネス）／価値観ワーク／強みワーク
チームで学ぶ・ チームで伸びる	オンデマンド学習 ② （各自）	▶学びのスキルとチームワーキング。
自らの学びを深める力（対話・ フィードバック・振り返り）	オンライン研修 ③ 11月26日（水）20：30～22：00	▶チームで共同するための視点と行動を学ぶ。
社会課題	オンデマンド学習 ③ （各自）	▶社会課題に意味を知り、解決する必要性を感じる。 ▶社会課題を解決するプランを構築するためのヒント（手順や方法）を学ぶ。
社会課題の解決を通して 自分のリーダーシップを 育てる	**宿泊研修** 12月5日（土）12：00～20：00 12月6日（日）8：30～15：30	▶チームワーキングを意識したグループ活動に取り組み、自らが当事者意識をもって活動に貢献する。 ▶活動を通して、自らの強みなどのリソースに気づき、自分らしいリーダーシップのあり方を見つける（身につける）。

リーダーシップ行動内容の変化

◎リーダーシップは「周囲とともに創りだすもの」

宿泊研修の開始前と終了後に、参加者は同じ「リーダーシップチェックシート」に回答し、研修によるリーダーシップ行動内容の変化をはかった。すべての項目では平均値が上昇し、参加者のリーダーシップ行動が全体として着実に向上していることが確認できた。特に「みんなで理想を描く」「目標・計画を共有する」は大きな伸びを示しており、個人の頑張りにとどまらず、チームとして方向性を共有しながら進もうとする姿勢が強化されたと考えられる。

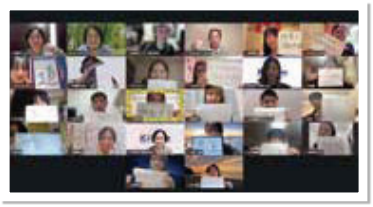
また、「他者へ協力を求める」「メンバーの力を引き出す」も高い伸びを示しており、リーダーシップを“一人で発揮するもの”ではなく、“周囲と共に創りだすもの”として捉える視点が育まれ、本プロジェクトの大きな成果だと考えている。

昨年までの結果と比較してみても、2025年はビジョン共有と協働の質が一層高まっており、本プロジェクトが継続的にリーダーシップの成熟を促していることがうかがえる。

（講師：横田）

カテゴリー	リーダーシップ行動内容
個の確立	自分自身が成長しようとする
	チャレンジする
	立ち直る
	流されない自分を作る
	他者へ協力を求める
	自分を客観的に見る
環境整備・ 同僚支援	お互いに認め合う
	相互に意見交換する
	前向きな雰囲気を作る
	仲間を助ける
	メンバーの力を引き出す
目標設定・ 共有	みんなで理想を描く
	目標を立てる
	計画を立てる
	目標・計画を共有する
	進捗を管理する

フォローアップ研修



宿泊研修から約1か月後、オンラインでフォローアップ研修を実施しました。宿泊研修までの研修内容をふり返り、研修で生まれた疑問について回答し、さまざまなリーダーシップのスタイルについても学びました。

また、研修が日常生活にどう活きているか、自分とどう向き合ったのかを意見交換。それぞれの話に刺激を受け、さらなる学びの時間となりました。最後に、今後に向けた宣言をして終了！学び合える仲間に出会えたことに感謝した時間ともなりました。

参加者の声

◎修了者／20名（高校生5名・大学生15名）

志の高い仲間との出会い

高い志をもった人たちとの出会いはとても嬉しく、もっと自分から話しに行けばよかったと思うほどでした。

対面では2日間という短い時間でしたが、人との出会いを大切にしながらこれからも繋がっていきたいと感じています。大変充実し、学びの多い研修で、心から参加して良かったと思いました。

新たな挑戦への一歩に

積極的に自分の興味関心のあることに参加している人たちだからこそ得られる刺激がありました。その刺激を受けて、さらに新しいことに挑戦してみたいと思えるようになりました。

肩書きにとらわれない、フラットなつながり

大学名や出身地、年齢や経験にフォーカスせずに仲良くなれたのがとても良かったです。その分バイアスや遠慮がなくなり、一人ひとりの個性を発揮しやすいと感じました。

実践を通して得る、本当の学び

文献や講義で知識を得るだけでなく、実践を通じてこそ得られる学びが多くあることを実感しました。また、積極的に参加する姿勢が自分自身を成長させることを、体験を通して学ぶことができました。

特設ページ

URL: **https://kafl.jp/**

講師より

横田 秀策

- 国家資格キャリアコンサルタント
- 産学連携教育イノベーター育成プログラム（リーダーシップ開発育成コース：立教大学）修了

佐渡 涼子

- ADHD／EFコーチ、親コーチ
- ニューヨーク大学大学院応用心理学修了（修士）

仲間と出会い、新しい挑戦と成長を生み出す

▶本プログラムでは、高い志をもつ仲間との出会いを通して、多くの刺激と学びを得ることができます。参加者からは、「2日間という短い時間でも非常に充実しており、もっと積極的に交流すればよかったと感じるほどだった」といった声が寄せられました。

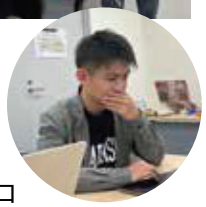
また、自らの興味関心に基づいて行動する仲間の姿から刺激を受け、「新しいことに挑戦したい」という意欲につながったという変化も見られています。

さらに、講義だけでなく実践を通じて学ぶことで、「主体的に参加することが自分自身の成長につながる」と実感する機会にもなっています。加えて、限られた時間の中で多様な価値観に触れ、対話を重ねる経験は、自分自身の視野を広げる大きなきっかけにもなっています。

こうした経験を通して、参加者は自ら考え、行動し、仲間とともに成長していく力を育んでいます。

交流と実践で深める自己理解

▶全国から集まった意欲の高い学生同士が交流しながら、実践を通してリーダーシップを学びます。参加者の多くは、自分の将来や社会への関わりについて深く考えており、互いに刺激を受けながら学びを深めていました。



また、過去の参加者の声をもとにプログラムを改善し、より多くの人と関われる機会を設けたことで、交流の幅も広がっています。さらに、合宿後のフォローアップ研修を通して学びを振り返る機会があり、日常生活の中でリーダーシップを実践する意識も高まっています。

加えて、海外留学や将来の生き方など多様なテーマについて語り合う機会もあり、学びがより広がりと深みを持つ内容となっています。こうした継続的な学びの仕組みによって、参加者は自分自身を見つめ直しながら、多様な価値観に触れ、主体的に行動する力を育んでいます。

〈主催〉

公益財団法人
かめのり財団

〒102-0083
東京都千代田区麹町5-5　ベルヴュー麹町1F
HP: https://www.kamenori.jp/

〈実施団体・連絡先〉

特定非営利活動法人
青少年育成支援フォーラム
Japan Initiative for Youth Development

〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-21-1 SHIBUYA SOLASTA 3F
TEL: 050-1742-4922　E-mail : info@jiyd.org